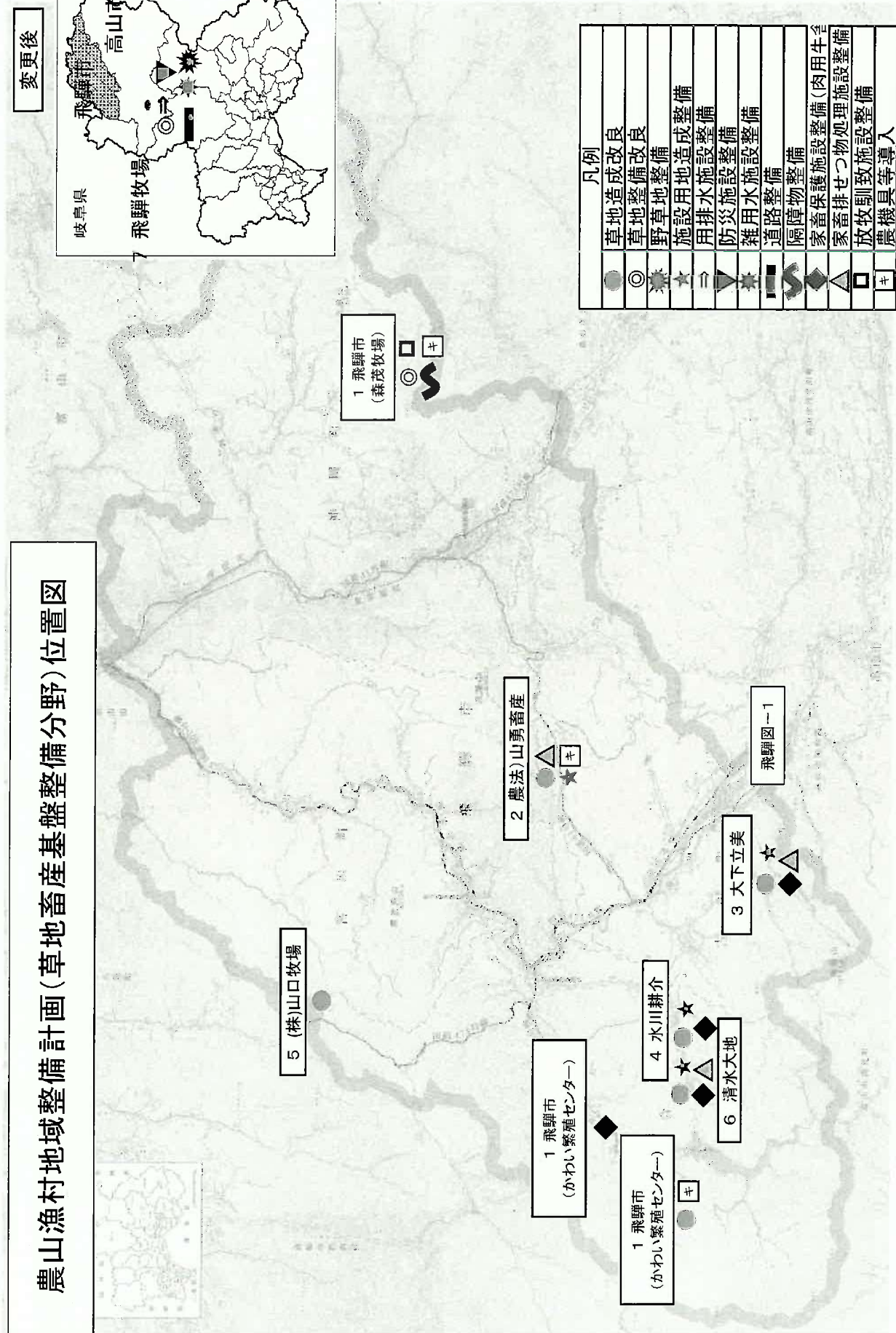
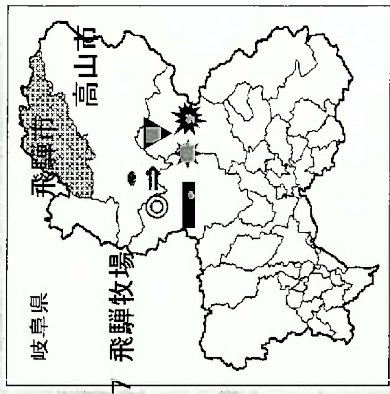


農山漁村地域整備計画

計画の名称 岐阜県農山漁村地域農業農村整備計画(草地畜産基盤整備分野)
計画策定主体 岐阜県
対象市町村 高山市、飛騨市
計画の期間 平成26年度～平成31年度(6年間)
計画の目標 公共牧場の機能強化、担い手農家の生産基盤及び家畜保護施設等の整備を行い、飼料自給率の向上、担い手への土地集積による規模拡大、中核的担い手農家の育成による畜産主産地の形成及び「飛騨牛」のさらなる生産拡大を図るため、 ①地域の基幹的な公共牧場を機能強化することで、肉用牛経営の夏山冬里方式を促進し、畜産農家の労力、生産コストの軽減を図る。 ②担い手への土地集積及び公共牧場の機能強化による飼料基盤の造成整備を実施することで飼料自給率を向上させ、自給飼料基盤に立脚した経営体の育成、主産地の形成を図る。 ③畜産生産基盤の整備、飼料自給率の向上による生産コストの低減、公共牧場の機能強化による畜産農家の労力軽減をすることで、新規就農、飼養規模拡大を促進し、担い手の育成と生産基盤の強化を図る。 ④飼養規模拡大に伴い増加する家畜排せつ物を適正に処理し、土地還元することにより、資源循環型農業の確立を図る。
定量的指標 定量的指標 ①新たに草地畜産基盤整備を推進するため、1地区において事業実施計画を策定する。 ②公共牧場の預託放牧受入可能頭数を拡大 ■4年間の目標 預託放牧可能頭数:60頭(H26計画時)⇒107頭 ③自給飼料生産基盤及び生産性を向上する飼料生産基盤面積を拡大 ■4年間の目標 草地造成整備改良面積:31.8ha ④畜舎整備(乳用牛、肉用牛)により飼養可能頭数を拡大 ■4年間の目標 飼養可能頭数(肥育豚換算):722.5頭の増 ⑤畜産生産基盤整備等を実施することで、地域の担い手、後継者を育成 ■4年間の目標 新規就農者:2戸 後継者:1名 ⑥家畜排せつ物処理施設を増設 ■4年間の目標 家畜排せつ物処理施設:3棟の増
対象事業 別紙のとおり

農山漁村地域整備計画(草地畜産基盤整備分野)位置図

変更後



凡例	
●	草地造成改良
◎	草地整備改良
■	野草地整備
☆	施設用地造成整備
⇒	用排水施設整備
▼	防災施設整備
★	雑用水施設整備
—	道路整備
⌒	障害物整備
◀	家畜保護施設整備(肉用牛舎)
△	家畜排せつ物処理施設整備
□	放牧馴致施設整備
キ	農機具等導入